

令和2年度 第1回京丹後市廃棄物減量等推進審議会 会議録

- 1 開催日時 令和3年3月25日（木）午後1時30分～午後3時30分
- 2 開催場所 京丹後市峰山総合福祉センター 2階 コミュニティホール
- 3 出席者 藤原義幸委員、鈴木菜穂子委員、門田勝幸委員、下田好之委員、
中江榮子委員、吉岡厚司委員、板谷由美子委員、大垣いづみ委員
森祝子委員、味田佳子委員、廣瀬正貴委員、入江範久委員（以上12名）
欠席者 坂根恵美子委員、岡眞子委員（以上2名）

4 次 第

- (1) 開会
- (2) 議事

- 5 公開又は非公開の別 公開

- 6 傍聴人の人数 1人（記者1人）

7 要旨

《議事経緯》

○開会あいさつ

（部長）

本日はご多忙の中、本審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、皆様方におかれましては、本審議会委員への委嘱につき、ご快諾をいただきありがとうございます。

昨年度におきましては、一般廃棄物処理基本計画第2期分の見直しについて、活発なご意見のもとご答申いただき、本年度から京丹後市一般廃棄物処理基本計画の第2期中間計画としてスタートすることができました。

委員の皆様には大変お世話になり、また、貴重なご意見、ご指摘をいただき、改めましてお礼申し上げます。

今年度の審議会は、昨年実施しましたごみ減量・リサイクルに関するアンケート結果、また市のごみ減量化の現状、新最終処分場整備事業の経過、スケジュールにつきまして、ご報告させていただきます。

ごみ問題は、排出者である私たち一人一人と事業者、行政が一体となり、取り組みを進めていくことが重要であると認識しております。どうか審議委員の皆様におかれましては、様々な立場でご意見をお聴かせいただき、今後の廃棄物処理行政に活かして参り

たいと存じますので、どうかよろしく願いいたします。

○会長及び副会長の選任について

互選により、次の委員を選出。

会長：入江範久委員

副会長：藤原義幸委員、岡眞子委員

○会議録確認者の指名について

会 長：議事に入る前に、会議録確認者2名を指名します。

鈴木菜穂子委員、門田勝幸委員、2名の方でお願いします。

○審議

会 長：最初に昨年実施しました「ごみ減量・リサイクルに関するアンケート結果」について、事務局から報告いただきます。

事務局：資料1について説明

会 長：ただ今、事務局より説明がありました資料1について、ご質問等がありましたらお願いします。

委 員：アンケートの回答率が45%に対して、なかなかの回答率との言い回しがありましたが、まあこの辺だったらいいか、というような意味合いでしょうか。

事務局：他のアンケート調査と比較しても、高いと感じられる、そういった意味合いで発言しました。

委 員：家具を買う時に、木製のものが環境に優しいと思って買ったら、廃棄する際に、金具を外してくださいとか、1m以内にしてくださいとか言われますが、女性や高齢者には太刀打ちできないという声を聞いています。市民は困っているのですが、これについて、どう考えておられますか。

事務局：各市町によって違いはあるのですが、例えば何でも燃やしてしまう炉を持っているようなところもありますが、本市で施設整備をするにあたっては、皆さまにご協力いただいて、分別しながら少しでも安くできるよう進めてきております。高齢の方などについては、処分場に持ってきて

いただけるならば、現場でお声かけいただければお手伝いもさせていただきますし、どうしても持ってこられないということであれば、別途お金は必要になりますが、粗大ごみという形で、担当課からお伺いして運搬等もさせていただく体制は取っておりますので、ご理解をいただきたく思っております。

委員：今のことは、パンフレットに記載するなどPRはしているのですか。

事務局：広報紙などを含めて、今後検討させていただきます。ご意見としていただきます。ありがとうございます。

委員：色々な設問があり良いアンケートなのですが、今後は郵送だけではなく、若い人のためにインターネットから回答できるような方法も検討されてはどうでしょうか。

事務局：今後アンケートを実施する際には、そういった形も検討させていただきます。

委員：私も含めて、買い物の際は、商品の期限切れにならないように皆さん奥から新しいものを買ってしまいます。この辺りはもう、個人というよりもお店の方に頑張ってもらいたかなければならないと思うのと、レジ袋は生ごみ用の袋として再利用しているのご意見が一番多いのですが、これレジ袋を断ってその代わりにどこかでポリ袋を買っておられるとすると、本末転倒なことになると思います。

事務局：今年度、商品を手前から順にとって連れて行ってください、といったシール等を作らせていただいて、事業所のご協力も頂きながらお願いをしていく動きもさせていただいております。
いずれにしましても、市民の方に、ゴミをどうやって減量していくのかということについて意識を持っていただくことが必要と考えていますし、今後ともその辺は、しっかりと訴えていきたいと考えています。

委員：雑草や剪定の葉も含めた生ゴミを、肥料にするとか資源化する方向とし、分別収集するようなことは考えられないでしょうか。

事務局：エコエネルギーセンターで、生ゴミの再利用といったことに取り組んでお

りましたが、施設の廃止といったこともあり、現在はコンポスト導入への補助金といったことをさせていただいております。

ゴミの減量を図る上で、より詳細な分別をやればやるほどいいということは確かにあるのですが、伴う費用も生じますし、分別に対する市民の負担も勘案し、どのやり方がいいのかという部分は、今後の検討になってくるのかなと思っております。

委員：ごみ袋も含めて、ごみの分別の仕方が分かりづらいので、ごみの種類が何で、それはどこに出したらいいとか、難しいかもしれませんが、写真を撮ったら、そのごみの処分の仕方とか、まとめてインターネットで簡単にわかるような仕組みがあると良いと思います。

委員：一人暮らしの高齢の方は、雨の日の早朝にゴミを出すのが大変だと思いますし、これからはそのような方が増えてくるので、今後の課題と感じます。

会長：次に、「一般廃棄物の減量化に関する取り組み」について、事務局から報告いただきます。

事務局：資料2について説明

会長：ただ今、事務局より説明がありました資料2について、ご質問等がありましたらお願いします。

委員：硬質プラスチックは不燃ごみの袋で出した場合、その袋を開けて分別するというわけではないのですね。

事務局：ごみ袋に入っているものについては、その中には色々なものが入っていると思うのですが、そのまま埋立になります。

袋に入れず直接搬入される場合には、硬質プラスチックですとか金属である場合などは、それは処分場の該当の箇所に持って行ってください、というようなことで、分別をさせていただいています。

委員：(古紙団体補助金交付についての) このデータは、民間店舗などにある回収分は入っていないのでしょうか。

事務局 : これはあくまでも、古紙回収団体の方でやっていただいた部分での実績です。古紙回収業者の方にも確認をさせてもらったことはあるのですが、他の市町の部分も含めてのものになるので、ちょっと数値を出すことは難しいと言われました。

委員 : 食品ロスに関する、お店への「つれてって」の取り組みは、とても良いことだと思います。今後、他の販売店へ広げていくとか、今後のことを教えてください。

事務局 : 取りかかりが遅く、年度末ということでもあったので「にしがき」さんだけとなっていますが、今後はより多くのお店で取り組んでいただきたく、引き続きお願いをしていきたいと考えています。

委員 : 地域で鍋やフライパンといったものの出し方が徹底できず、ごみステーションが乱れる中、専用のリサイクル・ボックスを新たに設置して、鉄やアルミニウム等を収集していただくことはできないでしょうか。

委員 : 草刈り機や掃除機は、価格からいうと修理ではなく新品の購入に傾き、使い捨て状態になっています。製品の再利用が廃棄物減量の方向性と思えます。

事務局 : 金属類について分別をしていかなければならないと、廃棄物の処理基本計画においても方針づけしておりますので、資源物としてリサイクルに回せるよう検討していきたいと考えています。
また、リユースも廃棄物減量の面で大事なことだと思っておりますので、市民の皆様にもそういった意識を持っていただけるよう、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

委員 : 雑がみ分別の取り組みのきっかけは、「雑がみ分別お試し袋」だとの答えが3割ということですが、事務局はこの数字を、どのようにとらえているのでしょうか。

事務局 : この3割の人への意識づけは、やらなければ無かったものなので、この数字は大きいものだと思っております。

委員 : 資源ごみのステーションは、場所によって分別等の守りかたに差があり、

徹底できていないところもあります。年に1回か2回、市から地区へごみの出し方を伝える場を設けてはどうでしょうか。

また、ごみ袋について環境に優しいものを、市内企業も使いながら検討されてはどうでしょうか。

事務局 : 地元区の皆さまには、リサイクル・ステーションでの立ち番等、本当にお世話になっており、ありがたく思っております。地元区との話の場については、必要に応じ、少し前向きに考えさせてもらえたらと思っております。

またごみ袋について、不燃ごみ袋はすでにバイオマスを使った環境に優しいものを導入させていただいておりますが、可燃ごみ袋につきましては、単価と予算の関係もございますので、これらを踏まえながら、検討できたらと思っております。

会 長 : 次に、「新最終処分場整備事業の経過、スケジュール」について、事務局から報告いただきます。

事務局 : 資料3について説明

会 長 : ただ今、事務局より説明がありました資料3について、ご質問等がありましたらお願いします。

委 員 : 質問ではないのですが、資料を見せていただきますと、ますます埋め立てごみ自体を減らしていかないと、持続可能ではないと感じました。今4Rと京丹後市でも言っておられますが、実はこのRはいくらでもありまして、「リペア」とか「レンタル」、「リフォーム」、こういったことを駆使しながらどんどんゴミを減らしていくべきで、「リサイクル」は最後の手段という認識が現実としては一番大切になってくるのかな、と思いつつ聞かせていただきました。

委 員 : 遠からず最終処分場が満杯となっていくとのことですが、資料の見通しでいくと、残るのは大宮町と新最終処分場となりますね。ゆくゆくは、この2箇所を絞っていくということでしょうか。

事務局 : ゆくゆくは、新最終処分場1箇所にする予定にしております。

委員 : ごみの問題については、色々取り組んでいただいているのですが、結局は意識の問題になりますので、繰り返し繰り返し伝えていくこと、そこに尽きると思います。

分別しているなかでも、やはり可燃ごみに不燃ごみが入っていたり、その逆の場合もありますし、今では使えない古いごみ袋で出す例もあり、収集業者さんも困っておられます。

区でも回覧板を回すなど広報をしていますが、その繰り返ししか手がないのではないかと考えているところで、そういう中で皆慣れてくるのではないかと思います。市でも、今回の「ごみの分け方・出し方」パンフレット作成のように、PRを続けてください。

委員 : 前回の見直しを通してごみの処分料を値上げしたのですが、その際課題としてあがっていた、市外からの京丹後市へのごみの持ち込みは、その後どうなりましたか。

事務局 : 市のごみ処理施設で受け入れるごみは、基本的に市内発生のごみのみです。可能性として近隣市町からの持ち込みに触れており、近隣市町と同程度の処分料にすれば、それも無くなるのかな、という意味合いでしたので、実態を把握することはできませんし、現状市外からのごみの持ち込みは無い、ということで報告させていただきます。

会長 : 本日、重要で大切な意見を頂きありがとうございました。これら意見につきましては、今後の廃棄物処理行政に活かされると考えております。今後の日程は、案件が定まる都度、事務局より調整させていただきます。

会議録確認者 _____ 印

会議録確認者 _____ 印